

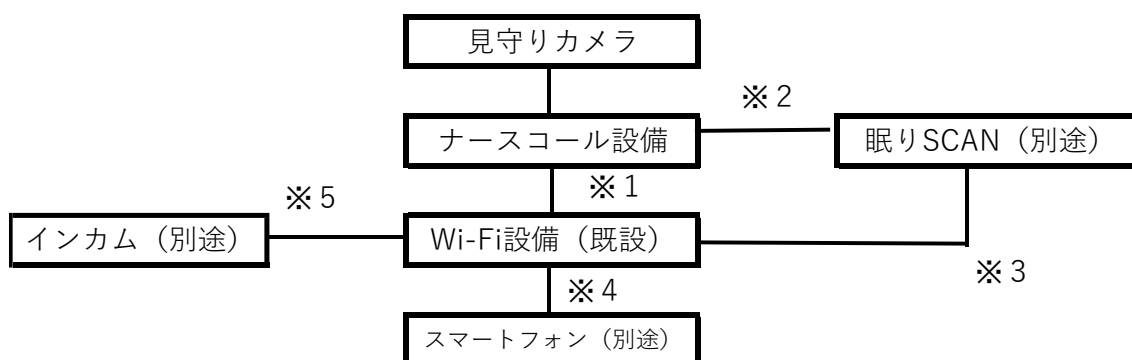
## 特別養護老人ホームケアハイツいたみナースコール設備等更新工事仕様書

本仕様書は特別養護老人ホームケアハイツいたみ（以下「甲」という）に設置されているナースコール及び周辺機器の更新工事及び既存機器の撤去について、仕様を定めるものである。

### 1. 更新概要

ナースコールの更新を行い既存の Wi-Fi 設備を使用し、甲で用意するスマートフォン（iPhone）とナースコールを連携するものとする。また見守りカメラと眠り SCAN、インカム（ほのぼのトーク）を連携することにより、さらなる介護の充実を図るものとする。

#### 【更新イメージ】



#### ※1、※4

ナースコール設備と Wi-Fi 設備を連携させ、スマートフォンでナースコール着信をとれるようにし、見守りカメラからの映像も確認できるようにする。

#### ※2、※3

ナースコールと眠り SCAN を連携し、眠り SCAN の通知をナースコールとスマートフォンで着信できるようにする。

#### ※5

インカムを Wi-Fi 設備を通してスマートフォンを介し、会話ができるようにする。

全ての関連機器をスマートフォンに一元化し運用できる状態にする。

## 2. 構成機器等

ナースコール本体は IP 幹線を使用するアイホン社製 Vi-nurse とする。

機器明細 (参考型番)	数量
<b>【ナースコール設備】</b>	
卓上型親機【7型モニター付】(NLX-MDD)	1台
4局用アダプター (NLX-4ADC)	1台
制御装置 (NLX-3XE)	1台
制御装置データ作成	1台
PoE対応L2スイッチ【24ポート】(PN262493-A)	2台
PoE対応L2スイッチ【8ポート】(PN260893-A)	2台
子機【コンセント・復旧ボタン付・プレート無】(NL-C2)	56台
呼出握りボタン【コード長1.5m】(NLR-8)	56台
復旧ボタン (NLR-2)	6台
トイレ呼出ボタン【引き紐・復旧ボタン付】(NLR-72H)	25台
露出ボックス【液晶表示灯・アダプター用】(NLX-RBOX)	29台
オプション入力コンセント (NLR-OPA)	56台
中継コード (NLR-TA)	56台
天井埋込型スピーカー (NL-SP)	5台
天井埋込型マイク【サラネット分離型】(NF-MCN)	5台
天井埋込型マイク【防マツ型】(NF-MCW)	1台
角型表示灯 (NLR-4F)	3台
Vi-nurse 集合表示灯【1床用】(NLX-6S-1T)	10台
Vi-nurse 集合表示灯【2床用】(NLX-6S-2T)	3台
Vi-nurse 集合表示灯【3床用】(NLX-6S-3T)	14台
Vi-nurse 集合表示灯【4床用】(NLX-6S-4T)	1台
HUBBOX 壁掛け型【H=650,W=650,D=250】	3面
UTP ケーブル【Cat-5e】	3,531m
モジュールフラグ【Cat-5e】	172個
<b>【見守りカメラ】</b>	
Vi-Nurse 見守りカメラ (NLX-CA)	54台
Vi-Nurse IPカメラ取付パネルセット (NLW-CM)	54台
POE対応スイッチ24ポート (PN262493-A)	3台
マスター作成・セットアップ	1式

機器明細（参考型番）	数量
<b>【ナースコール連携】</b>	
スマートフォンゲートウェイ-L (SGW-L (PLAT'HOME OBSIX9・D11A))	1 台
スマートフォンゲートウェイ連携オプション【ローカル PUSH 機能】	1 台
ナースコール運動機能ライセンス【Callkit 対応】	10 台
<b>【設置・設定】</b>	
機器設置・配線・別途システムの連携設定費用	1 式

※工事開始後の数量の増減については、甲と落札業者間で都度協議し、必要に応じて準備すること

※機器の廃棄費用は予定価格に含んでいない。

### 3. 工事概要

#### (1) 機器設置、配線接続及び運用設定について

- ①ナースコール設備の電源工事、配線工事、機器の設置・接続・運用設定・試験・調整を行うこと。
- ②別途となる眠り SCAN 等の連携ができることを確認すること
- ③既設ナースコール設備の撤去作業を行うこと

#### (2) 工事における留意点について

- ①工事の施工は、熟練した技術者等が行い、機器等の機能を十分に発揮できるよう誠実にを行うこと。
- ②工事の施工する際は、十分な打合せを行い、工程管理に万全を期すこと。
- ③既設設備からの切替に伴う機能停止は、基本的に無しとなるように配慮すること。想定外の事象などでどうしても機能停止が必要な場合は事前に了承を得ることを条件にできるだけ短時間となるよう考慮すること。
- ④塵埃等を発生させる作業は、既設機器に対して十分な養生を行い、機能等に悪影響を及ぼさないよう施工するものとする。その他詳細については、承諾を得ること。
- ⑤各ケーブルには、行き先・線種を明示するものとする。また、他の配線との誘導障害についても十分に考慮すること。
- ⑥配線盤・端子盤等についても、行き先別に整然と整理し、将来の増設等の施工が容易になるよう配慮すること。
- ⑦機器設置・調整・切替にあたっては、業務に極力支障を与えないよう努めること。
- ⑧すべての工事が完了した後は速やかに完成図書一式を作成し提出すること。

#### (3) 電源確保、幹線ケーブルについて

- ①ナースコール切替工事における電源ケーブルの新規敷設工事は落札者側で行うこと。
- ②新規電源については既存の非常電源分電盤の空きブレーカー箇所を使うものとする。
- ③新規電源確保について該当の非常電源分電盤に空きブレーカーがない場合は他のエリアもしくは他のフロアの空きブレーカーから電源を確保して対応すること。万一、付近エリアなどにも空きブレーカーの確認ができず施工が困難になる場合等はその旨報告し、別途協議を行う。
- ④幹線ケーブルの敷設工事には、可能な限り既設の配管、配線ルートを使用すること。
- ⑤壁裏の構造及び材質等の問題により、配線を隠蔽することが不可能な場合は、露出配線を行い、メタル及び樹脂モールでケーブルを保護すること。
- ⑥幹線ケーブルは、天井内部に敷設する箇所が多いため、廊下及び各居室内での脚立作業が発生する。その際、入所者及び職員の往来等の周囲状況に十分注意し作業を行うこと。
- ⑦配線敷設の際は、ケーブルの損傷による機器の動作不具合を避ける為、過度の引っ張り、無理な曲げ及び配線の締め付け等を行わないよう注意すること。
- ⑧配線工事における注意事項、配線敷設方法及び接続方法等はメーカー仕様及び工事説明書の記載事項に従うこと。

#### (4) 制御装置・L2スイッチの取付工事・仮設親機の設置について

- ①制御装置・L2スイッチの取付は、室内のナースコール機器の取替えに先駆けて行うこと。
- ②取付方法、天井との離隔などはメーカー仕様書及び工事説明書に順ずること。
- ③制御装置・L2スイッチ設置後に、新ナースコール親機を仮置きし、新システムに取り替えた部屋は仮親機にて対応できるようにすること。
- ④全ての部屋の取替えが終了後、正規のナースコール親機を設置すること。

#### (5) 各部屋機器の取り換え工事について

- ①既存の廊下灯・アダプター・子機等を撤去し、新しい機器の取付け及び結線を行うこと。
- ②取付及び設定方法等はメーカー仕様書及び工事説明書に順ずること。
- ③各部屋内でのベッド移動等は職員の指示に従うこと。
- ④作業時はベッド周辺の点滴の状況に注意を払い、支障を与えないように作業を行うこと。
- ⑤取替終了後は付近の掃除及びベッド、荷物等の復旧を行うこと。
- ⑥機器の動作確認及び試験は各部屋の取替工事終了後に、部屋ごとにその都度実施すること
- ⑦動作に異常ないことを確認してから次の作業場所へ移動すること。
- ⑧各部屋機器の試験項目について
  - a) ナースコール呼出

- b) 通話（送話・受話の音量、音質、ノイズの有無）
- c) 集合表示灯の点灯（色、ベッド位置）
- d) 親機での部屋番号、ベッド番号の表示
- e) 脱落断線（表示・表示灯での点灯、王焼での鳴動）
- f) スマートフォン端末（内線&ナースコール連動）での着信（表示・鳴動）
- g) 復旧動作（親機、集合表示灯、スマートフォン端末での復旧操作）
- h) 外観の点検（機器の傾き、汚れ等）

(6) 共用部機器の取替工事について

- ①トイレ・浴室の既存機器を撤去し、新しい機器の取付け及び結線を行うこと。
- ②作業時間帯は職員指示に従い、使用していない時間帯又は使用の少ない時間帯に行うこと。
- ③取付方法等は各部屋機器と同様に行い、都度動作試験を行うこと。
- ④共用部機器の試験項目について
  - a) トイレ・浴室の呼出・呼出表示
  - b) 表示灯の点灯
  - c) 親機での呼出表示
  - d) スマートフォン端末（内線&ナースコール連動）での着信（表示・鳴動）
  - e) 復旧動作（親機、集合表示灯、スマートフォン端末での復旧操作）
  - f) 外観の点検（機器の傾き、汚れ等）

(6) 引き渡し後の保守・障害対応・撤去機器の処分について

- ①稼働開始後1年間以内に生じた故障で、設計、製造の不良によるものと認められる場合、無償にて修理及び取替を請負者が行うこと。
- ②取替工事に発生した、既存機器・電線材については、マニフェストが必要な既存機器については甲が廃棄処分を行うが、それ以外の電線材等は請負業者が廃棄を行うこと。

(7) 【参考】インカム（ほのぼのトーク）について

甲で用意するスマートフォン端末10台に紐づけての運用を予定。